

～「夏期」様々な虫と触れ合ってほしいなあ～ “保育者のねがい”

春頃、園庭ではダンゴムシやカナヘビなど様々な生き物に興味を持っていた子どもたち。厳しい暑さの中で、戸外遊びが出来ない日が続き、外遊びは出来ないけれど、虫を見たり触ってみたりする体験が出来るといいなあと思い、保育者が園庭にいる虫を捕まえに行き、お部屋に持ってきてみました。

カマキリとバッタみーつけた！

園庭で虫探しをしていると、カマキリとバッタを発見！子どもたちはどんな反応をするかな？ワクワクしながら、捕まえたカマキリとバッタをお部屋に持って行きました。カマキリやバッタに興味津々！触ってみたいけどちょっと怖い…。そんな姿もあったので、虫かごに入れて観察してみました。

スライム遊びが大好きな子どもたち。保育者がスライムでカマキリを表現すると、Aちゃんが、「おめめつけるよ～」と言い、顔のあたりに指でカマキリの目を付けてあげていましたよ。



「カマキリどこかなあ？」



これは何かな…？



カマキリを飼育し始めて2週間ほどが経った頃、カマキリが脱皮をしていました。カマキリの脱皮した皮も観察してみました。

「カマキリ、バッタ食べてるね！」



「ほんとだ！」

日々、カマキリの観察をしていると、同じ虫かごに入れている小さいバッタや小さなちょうちょうはすぐに食べるけど、大きいバッタやトンボはなかなか食べない事が分かりました。



ちょっと
こわいな…

テントウムシも触ったよ♪

園庭で以上児クラスが育てているなすびの葉っぱには、テントウムシがたくさん！テントウムシも数匹捕まえ、お部屋で観察しました。保育者がテントウムシに指を近づけてのせようとしている様子を見て、真似してみようとする子どもたち。指にテントウムシがやって来ると、「見て～♡」と触れたことをとても喜ぶ姿がありました。

「触れたよ～！」



カナヘビみーつけた！

カマキリの好物は小さなバッタだという事が分かったので、保育者が小さなバッタを探しにさつま芋畑に行きました。バッタを探していると、大きなカナヘビを発見！子どもたちは興味を示すにちがいないと思い、飼育ケースにカナヘビを入れてお部屋に持ち帰りました。



「カナヘビだ！」

バッタ食べる
かな…？

カナヘビに釘付け☆

虫を観察したり、触ってみたりする体験の中で、日々新しい気付きや発見をしています。また、気づいたことを嬉しそうに保育者に伝えてくれる姿もあります。カナヘビはもうしばらくして逃がす予定ですが、カマキリはもう少し大きくなるまで、らいおん組で飼育してみるつもりです。これからも、子どもたちからどんな発見の声が聞かれるのか楽しみです(^_^)